

穂普第五四号

ペトウ角南湾上陸地撰定報告

明治二十八年五月廿五日旗艦ノ命ニ依リ午後六時半ペト
ウ角南湾陸兵上陸地測量ノ為メ単艦淡水泊地
ヲ發シ翌二十六日午前七時ペトウ角南湾ニ達シ直ニ
小蒸氣ヲ卸シ湾内河口附近ノ鐘測ヲ為サシメ本艦ハ
湾ノ外方ヲ鐘測スルニ別紙畧圖ノ如シ午前十時三
十分小汽艇鐘測ヲ終リ帰艦ス乃チ淡水ニ向テ出艦ス
此日天候險惡特ニ濛雨来リ特ニ本湾ニ忌ムヘキ東
北東風力ニミテ波濤高ク小艇測量ニ不便ナリレ
ペトウ角南湾ハ北微西ヨリ正東ニ至ルノ間ハ全ク外洋
ニ開放セルヲ以テ風其方向ヨリ来ルトキハ強大ナル波濤ノ

0368

為ノ上陸事業ヲ為ス能ハス湾ノ西岸ニ一般ニ岩涯ニテラ
サレ直ニ山ヲ帯ヒ且濱岸ニ接スル迄深キニ過タルヲ以テ
揚陸ニ適セサルカ如シ

獨リ湾内河口ノ左岸ニ一体ニ最モ低キ砂堆ヨリ成リ後方
ニ平坦ナル廣地ヲ有スルガ如ク其前面ニ距岸三鎮ニシテ
水深五尋ニ達シ漸ク其深サヲ増シ錨場宏濶ニシテ
危險物ナク数尋ノ船ヲ泊スルニ適ス而シテ波濤ナキトキハ
容易キ小舟ヲ着岸セシムルヲ得ヘシ

河口只白砂堆ノ東端ニシテ其幅約二十米突許迄
距離ニ接スルモ尚ホ河口ノ何レニアルヤヲ判別シ難シ
測量ノ当時東北東風ノ為ノ波濤河口ニ卷擾シ
水深又々一尋ニ近カリシヲ以テ實地河口ノ水深及河ノ

性質ヲ確カシ得ザリシモ其附近ニ厩舎モ瓦土民數人ニ
 就テ聞ク処ヨレハ水深河ハ於テ二丈一清尺(我一丈八尺
 ニ當ルナラムカ女シク多キニ過ルノ思アリ)上流ニ至ルニ
 徒々河中ヲ堵シ三貂鷄菴ニ至ル道路ニ會ス道ノ
 ナラズ高きヲ小流艇カモ通ルヲ得ト現ニ中流支那
 船ノ大帆ヲ展シテ河は附近ヲ溯リツアリシヨリ考テハ
 水深ノ小流艇ヲ通ルハ倍スニ足ラン而シテ河
 口右岸ニ近キ處ニテ濤トナスト云フ此錨場ニ入ルニ宜
 シク西側ヲ避クベシ西側ハ暗岩露礁遠ク嘴出スルヲ以テ
 頗ル危険ナリ而トモ大倭白波ヲ生スルヲ以テ其位置ヲ
 知ルベシ
 白砂堆ノ西端ニ凹處ト云フ處アリ○及び角ノ嘴

出た處、岩礁、有り、餘分、外洋、波濤、滅殺、大
 此附近、中海岸、部落、見、一箇、處、人家
 五六、十、戸、支那、船、數、多、其、濱、岸、一、般、動、搖、し
 易、キ、木、船、又、中、形、平、修、船、多、其、間、遊、る、處、多、シ、ハ
 佳、民、清、人、之、其、數、割、合、多、其、間、遊、る、處、多、シ、ハ
 役、夫、多、數、ヲ、徴、募、ス、容、易、十、テ、五、俸、格、強、健、相、有、
 陸、上、ノ、模、様、陸、上、兵、影、ヲ、見、大、其、有、無、ノ、問、ハ、意、ク、
 トラ、角、方、面、ヲ、指、シ、テ、彼、方、ニ、屯、在、ト、言、フ、一、俸、ニ、平、穩、
 之、テ、曲、張、業、及、漁、業、ニ、従、事、ス、而、シ、テ、小、童、院、ノ、末、航、ス、
 此、ヲ、見、驚、キ、名、風、ニ、テ、多、人、數、屋、外、ニ、出、テ、来、テ、意、
 望、ス、ル、ヲ、認、ム、

右報告也

明治二十八年五月二十日

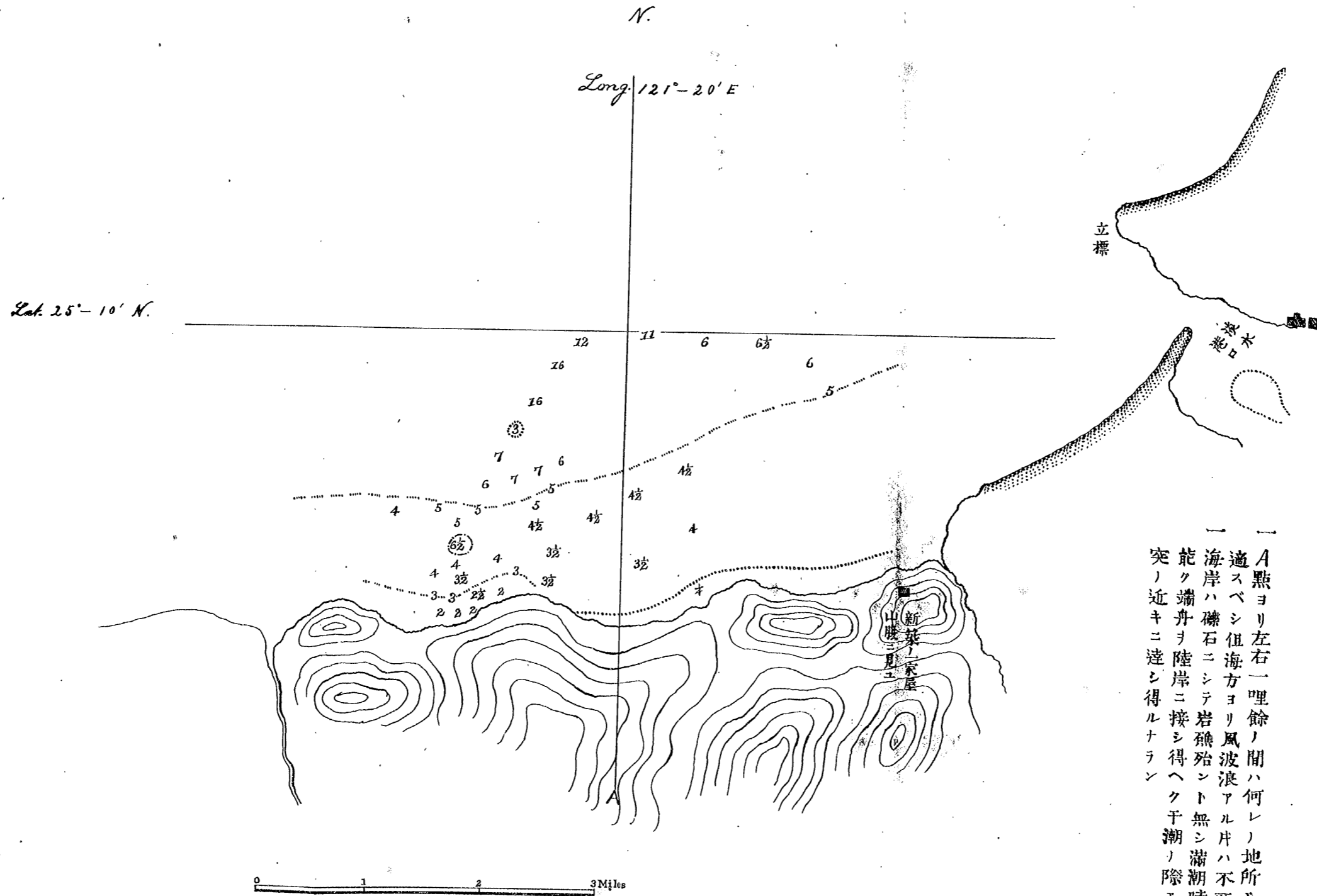
高千穂艦長 野村 貞

常備艦隊司令官 東郷平八郎 殿



青線、ペトウ角ノ海岸線ハ、鷓籠島及三貂角トキ以テ改正セル者ナリ
 海岸線、嶮礁等ノ位置ハ見取ナルヲ以テ確實ナラズ

0373



一 A 點ヨリ左右一哩餘ノ間ハ何レノ地所モ上陸ニ
 適スベシ但海方ヨリ風波浪アル片ハ不可ナリ
 海岸ハ礫石ニシテ岩礁殆ント無シ滿潮時ニハ
 能ク端舟ヲ陸岸ニ接シ得ヘク干潮ノ際モ數米
 突ノ近キニ達シ得ルナラン

0374